

(2) 固形飼料として給餌する場合

(写真1と同じように給餌)

- ① 本製品30gを1Lの水（カルキを抜いたほうが生菌の活性が高くなります）に溶解します（水温は45℃以下）。
- ② きなこ、砂糖、代用花粉等の粉体の合計約100gにつき、30～50mLの上記溶解液を添加してください。
- ③ 適当量（少量）を、固形飼料として給餌してください。（乾燥にはご注意ください）

(3) 散布する場合 (写真2)

この場合、1袋30gは10群相当になります。

本製品3gを、巣枠の上部に散布します。また、材料の酵母抽出物が、食べ残しとして少量残る場合があります。



写真2